**AventureS**

～若きトップランナー達との共演

　　新たな一歩を踏み出す学生へ～

**主催　　　同志社ベンチャートレイン（DVT）**

**日にち　　６月２９日**

**会場　　　同志社大学　今出川校　良心館２０４**

**講演者**

**宮崎良一様：株式会社Bridge 代表取締役**

**田中淳士様：食一　代表**

**金田隼人様：株式会社営業課　取締役**

**世界一周チームCiRCUSメンバー**

セクション１

**パネルディスカッション**

**☆大学生活☆**

宮崎さん

大学生活

恋愛について

「バランス」を大事にしている。

1・2回生の時は、恋愛に無頓着で重視していなかった。

3回生になってから公認会計士の勉強を始めた。

恋愛は保守的に、同じ人と長く続けたいと思い始めた。

3階に生の時につきあった方と結婚している。

田中さん

1，2回生はひたすら資格の勉強をしていた。FP,宅建など

恋愛について

1回生の時に、付き合った京都人の方がいたが、勉強に重点を置いていたのですぐに別れた。

金田さん

大学生活

1，2回生の時は暗黒時代

**☆起業、立ち上げのきっかけ☆**

宮崎さん

やりがいのある仕事をしたかった

しびれるものを求める先に起業があった。

ある程度のルールにのっとって起業というものがあった。

公認会計士になると9割が監査法人に入るため、自分も入ったが、

しびれるものを探して東京の急成長の会社のご支援をし出す。

その後、会計士は転職か、独立の道を選ぶことになるが、独立をする。

起業することに反対はされた。特に両親。奥さんは変わっていて、
逆に積極的に応援してくれた。

田中さん

同志社のビジネスプランコンテストで優勝をいただいたのがきっかけ。

最初は、30万良いなって感じだったが、プランを立てていくうちに本気でやって行きたいと思っていく。

真剣にやりたいと思ったため、休学した。両親にコンテストに優勝したこと、起業したいことを伝えて休学をさせてもらった。

コンテストのプランと今のビジネスモデルはだいぶ異なっている。

金田さん

一人旅デビューが世界1周だった。

テーマを持って世界1周をする、自分をつくっていくっていうのが目標。

同じ目標を持った仲間がいたので、帰国後に団体を作り上げた。

1か月で企業からの協賛金で100万円を集めた。
金田＝世界1周大学のような、自分＝何か、ブランドではないが何かをつくることが大事。

**☆苦労したこと、乗り越えたこと☆**

金田さん

サーカスはない。

営業の方がたくさんあった。

違う会社にいったら取り締まりやらないかと言われたのでやった。

東日本大震災で社長しか会社にいない、

軸足をぶらさない、目先のおカネとの葛藤

12月までと決めて、無理を言ってアポイントを取りまくってた

田中さん

やる前にやりますと言っていた。

周りの人に助けてもらったり、さぼりがちな性格のため周りに追い込んでもらっていた。

宮崎さん

起業したばっかりの時に、売上が上がらない、お客さんを集めないといけない

若いのと仕事自体がかたいものなので、信用されにくかった。

考えすぎず楽観的になってお酒、スポーツジムなどをやる生活を過ごす。

親友と前職の先輩が助けてくれた。

人を大事にするのは本当に大事！！！

**☆大学生活にやっていたことで今に生きていること☆**

金田さん

インターンシップ・世界1周旅行

いろんな嫌なことがあっても、ポジティブに進んでいくことを身につけた。

田中さん

大学の授業

アリさんマークの引っ越しでのアルバイト　筋肉をつけた。

読売新聞の営業のアルバイト　歩合制度だった。新規の営業に対する恐怖心がなくなった。

宮崎さん

お金をかけたボウリング

どうやったらストライクが取れるかを研究

どうやったらどうなるかを突き詰めることがボウリングで鍛え上げられた。

人間は弱いので、突き詰めることをあきらめてしまいがち。

自分を信じて、また、突き詰めている人に負けないように突き詰めていく。

プレッシャーに勝つ精神力を身につけた。

**☆仕事を共にしたい人材☆**

金田さん

エゴイズムと謙虚さを兼ね揃えている人。

わかりやすく言うと、目的に頑固で至難に柔軟な人。

あんまり出会わないし、最初からそんな人はいない。

やっていく中で身につけていく。

田中さん

自分のビジョンと同じ方向を向いてくれる人。

経営理念、信念に同じ方向に向かってやってくれる人。

やりたいことをやるために食一として何をやるかを大事にしたい。

会っていない。

社員を洗脳している状態（(笑)）。

宮崎さん

戦略的な人。

定義は、ゴールを明確にして最短に実行するためのプロセスを描いていける人。

自分もそれをめざしている。

生きるのであれば、めっちゃ楽しく生きたい。周りの人を幸せにする、幸せにし続ける。そのためには、自分の今の実力、経験を通じて自分の得意分野でやっていく。

武器を増やすために常に好奇心を持っている。

結構増えてきた。

大きい会社の人は、持っていることが多い。

結局、自己満足。自己満足のためには、人を幸せにすること。

**（会場からの質問）自己満のために人を幸せにするプロジェクトを立てたのだが、それでいいのか？**

私利私欲でいいと思う。

**（会場からの質問）起業の立ち上げに思いつきでいいのか？☆**

宮崎さん

思いつきでいいと思う。

バランスが大事なので、思いつきでも自分にとってそれができることなのかやりたいことなのかの比重を考えるべきだ。

これが５０対５０の時が一番いい状態。

田中さん

思いつきもあるし、必然もある。

実家で魚を扱っていたため、環境＋思いつき

金田さん

思いつき、営業に入るのに15分で決めた。

アイデアは、同じときに世界中の誰かが思い浮かんでいるからいかに早く実行するかがポイントだと思っている。

**☆ポリシー、モットーについて☆**

金田さん

毎日、その日の振り返りなど、徹底的に自問自答している。

人とのコミュニケーションの中から知恵をもらう。

田中さん

人生1度きり。

せっかくの人生なんやから楽しんだ者勝ち！

宮崎さん

精神的には、楽しんでやろうと思っている。

実務的には自分と向き合う時間をつくる。

土曜日は、3，4時間、月～金を振り返る。

イメージトレーニングをしている。

起業のために学生時代にやっていること

いろんな人を巻き込んで、指摘をしてもらう。

商工会議所のセミナーや人を利用して、大人の方からの指摘を頂く。

（セクション１　以上）

セクション２

セクション２は参加者３チームによる異色ディベート。

事前に振り分けた３チームをアイスブレイクを通して３色に分ける。

討論テーマは２つ。テーマごとに各チームにテーマに沿ったワードが与えられる。

与えられたワードがそのテーマに置いて最適な理由を考え、主張し批判を行う。

**テーマ１**

**ヒトカゲ・ゼニガメ・フシギダネのうちに実際にペットにするならどれが一番良い？**

赤チーム　ヒトカゲ

炎でヒトカゲの感情がわかりやすい

炎が便利

癒し　血色がいい

　　　ろうそくを真ん中に置くと彼女を口説きやすい

赤チームへの質問

ボディランゲージでわかる炎からわかるという利点とは言えん

→炎から本当の気持ちがわかる

口説いた後明かりが消せない（ヒトカゲの）

→モンスターボールに入れればいい

青チーム　ゼニガメ

とかげはお金がかかる、フシギダネは育て方がわからない。ゼニガメは亀で買い方がかんたん

ゼニガメはお金が貯まりそう

普段動かないゼニガメが庭に放すと動く→ギャップが可愛いい

質問

ゼニガメは大きさゆえにコストがかかる→大きさは三体とも同じ、大きいから飼えないのは無責任

カメは冬、冬眠する→小さい亀はヒーターなどを買えば大丈夫

ゼニガメは本当に亀？本当に動き回るのか？→主人の気持ちを読み取って動いてくれる。

緑チーム　フシギダネ

フシギダネは四足歩行で乗り物として使える

つるによって手が届かないところのものに手が届くという利便性

育てやすい。ゼニガメは水漏れ　ヒトカゲは炎が消えると死んじゃう。フシギダネはあまり食べないのでコストがかからない

質問

手がかかるのがかわいいのでは？→飼い主による。お金がピンチの時でも帰る

毒が危ない→毒を実用的に使う。番犬みたいな

みえないとこの物はフシギダネでも取れない、二階のものは四足歩行のフシギダネにはきつい→２階に限らない。電球の交換などに使えばいい

**テーマ２**

**ドラえもんの道具の中で最もビジネスチャンスが大きいのは？**

赤チーム：タケコプター

他の道具は今の人間でもできるが、タケコプターは飛ぶというできない欲求をかなえてくれるので需要がある

タケコプター免許は簡単、需要も多い

車と同じようなビジネスが生まれる（交通整備、製造など）

質問

車との交代時期はいいかもしれないが変わった後、コストがかからないタケコプターが普及すると経済が縮小するんじゃない？→年齢制限が高い車に比べて年齢制限が低いタケコプターはかなり普及する

タケコプターの脆さ、安全性は？ドラえもんの長い歴史の中で事故はゼロ。体重が重いドラえもんでも支えれる

青チーム：暗記パン

忘れたいことをコピーして体外にだせば忘れられる

暗記パンは制限がかかる、免許が必要、独占業務になる、儲かる

貧困地域に送って教育に使う

質問

貧困地域で使ったらビジネスにならない→教育者養成はビジネスにしていいのでは？

忘れれるのは暗記パンで覚えたことであってもともとある記憶は消せないのでは？→

緑チーム：翻訳こんにゃく

グローバル化がすすむ

日本の教育システムが変わる：英語の授業が無くなり代わりにビジネスのじゅぎょうが入り日本人の底上げがはかれる

普通の人が良く食べる、需要が多い

毎日食べるので、こんにゃくに含まれる化学物質を除く薬のビジネスチャンスが生まれる

低カロリーなので女性の需要が大きい

質問

方言の萌えが無くなるのでは？→方言レベルやったらこんにゃくは使わん

なぜこんにゃくにした？他では受け入れられない？→新たな文化が生まれる

（セクション２以上）